

びざん 謹賀新年

皆様のご健康とご多幸を
心よりお祈り申し上げます

JA NEWS 2021 NO.620

令和三年

1
月号



表紙写真は、酪農家筒井健人さん（24）。今年で就農し4年目になる。牛舎では親牛70頭、仔牛30頭を飼育している。現在、家族の中で健人さん、父・基之さん、母・仁美さん、妻ふらのの（23）さんの4名が家畜人工授精士の資格を取得している酪農一家。毎年、約60頭の分娩に立ち会う。また、吉野川河口の肥沃な土、地域の特性を活かし、乳牛の餌となる牧草を100%自ら栽培している。

妻ふらのさんとは北海道の専門学校で出会い、昨年4月に結婚。平成30年8月に基之さんが立ち上げた、「合同会社ラックファーム」は、酪農では四国初となる農場HACCAP認証牧場の承認を受けた。

「今や情報化が進んだ社会では、生産物の価格競争が激しい。消費者の方々が価格のみにとらわれないように真の安全・安心について国内産の価値を広くアピールしていきたい。また、酪農は国土の環境保全を維持する上で非常に大きな役割を果たしている。当たり前と認識されがちだが、これも改めて理解していただきたい。」と父・基之さんは熱い思いを語る。

健人さんは、「大変だが、生き物が相手だからこそやりがいがある。家族が一つになり、同じ方向を向いて一緒に仕事ができていることを幸せだと思う。毎日一生懸命、真面目に生きていきたい。そして、これからは良質乳を生産し、安全・安心な品質の維持を確保するため精進したい。」と意気込みを話された。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

代表理事組合長	松田 清見	理事	橋本 勝	監事	林 俊治	支所長	折野 雅幸
代表理事専務	伊勢 政喜	理事	林 容子	監事	山下 敏生	支所長	佐々木丈二
代表理事常務	丸岡 博	理事	早瀬 敏弘	監事	森 隆章	支所長	武市 一孝
理事	安東 学	理事	板東 覚	監事	福田 英俊	支所長	河野 勝重
理事	伊川 幸治	理事	福井 貞敏	監事	谷永 米男	支所長	黒田 卓也
理事	井川 義治	理事	福井 利興	監事	日野 雅史	支所長	鎌田 耕一
理事	井原 一成	理事	前河 洋次	監事	高橋 秀明	支所長	井上 和行
理事	角谷 茂	理事	松島 義二	監事	樋口 貴文	支所長	滝本 千春
理事	河上 勝夫	理事	松本 和一	監事	田村 朝代	支所長	田中 浩徳
理事	坂口 常博	理事	松手 登	監事	田村 朝代	支所長	小角 久雄
理事	鈴江 正義	理事	宮崎 忠司	監事	四宮 基彦	支所長	東 智也
理事	武市 栄	理事	盛 稔	監事	武市 英司	支所長	東 元宣
理事	傳藤 一	代表理事	本庄 幸子	常務理事	井河 勝淑	支所長	東 元宣
理事	豊田 修治	常務理事	宮本 修司	常務理事	林 宏明	支所長	吉田 稔
理事	豊田 三子	常務理事	荻野 俊明	常務理事	近藤 直樹	支所長	武田 元成
理事	野口 明	常務理事	渡邊 増之	常務理事	山田 孝志	支所長	(順不同)
理事	加茂名支所長	支所長	山田 孝志	支所長		支所長	

新年のご挨拶

代表理事組合長
松田清見



明けましておめでとうございます。組合員の皆様には希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中はJA徳島市の事業活動全般に亘り、ご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年はコロナウイルス感染症拡大により我が国の経済・雇用は大きいダメージを受け、農業分野においてもコロナ禍における「ヒト」と「モノ」の行動制限が、農業の生産、流通・販売、消費の各段階に影響を及ぼし、JA徳島市管内でも果樹・花卉等は大打撃を受けました。そのような状況を受け、JA徳島市は農業者への生活支援を目的として無金利融資制度の「新型コロナウィルス感染症対応資金」を設立するとともに、国政・県政等の支援事業についても出来る限りの情報を発信し、特に経営継続補助金や高収益作物次期作支援交付金の申請手続のご支援をさせて頂きました。引き続き、農業者及び組合員から頼りにされるJAを目指して取り組んで参ります。海外に目を向けると、バイデン次期アメリカ大統領が、対日外交においてTPPへの復帰や日米貿易協定への追加交渉などの懸念材料もあり、今後、米国がどのような通商政策を推進するのか、十分に注視する必要があります。

一方、我が国では菅内閣が発足しておりますが、基本的に安倍前総理の政策を継続すると発言しており、日銀の金融政策運営や農協改革・規制改革推進会議など、農協を取り巻く環境は依然として厳しい状況であると考えております。

このような状況の中、経営の健全性確保と経営基盤の強化を行い、更なる「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」等の進化に向け、去る11月28日の臨時総代会において、「組織再構築に向けた取り組み」を含む「第6次中期経営計画」をご提案し、可決決定して頂きました。

これから、新組織体制となる令和4年4月に向けて詳細を整理し、組合員皆様方にご案内させて頂く予定ですので、よろしくご願ひ申し上げます。

JA徳島市は基本理念である「すべては誠を尽くして」のもと「農家のベストパートナー」を目指し、農業者の所得向上に全力で取り組んで参ります。

組合員の皆様におかれましては、農業並びにJAを取り巻く環境に深いご理解を賜り、事業運営に尚一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

尚一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



令和2年度 臨時総代会

11月28日、JA会館別館大ホールで臨時総代会を開催し、532人（本人出席37人、書面議決495人）が出席しました。

議長は田中稔氏（勝占支所）が務め、資料に基づき理事者が説明し、第1号議案「中期経営計画の策定の件」は可決されました。

中期経営計画では将来ビジョンとして「10年後も日常のくらしに安心と豊かさを」を掲げ、その実現に向けては、すべての組合員に総合事業を引き続き提供できる組織体制への変革（再編）が不可欠であり、経営の健全性と経営基盤の強化を兼ね備えた「事業・組織再構築の見直し」が必要なことから、「事業実施計画」「組織再編計画」「要員配置・財務計画」を策定しました。

今後は組織再編計画に基づき令和4年4月から信用共同事業取扱店舗を集約した新組織体制スタートに向けて取り組みます。



ゆず、ゆずゆず。

農産工場では、ユズの搾汁が順調に進んでいます。加工用ユズの出荷のピークは11月8日で1日に13トの荷受けがありました。

今年産のユズの出荷は、やや前倒し傾向で販売も好調。約160トの集荷を予定しています。

工場の敷地内では、コンテナに積まれたユズが所せましと並べられ、ユズの豊かな香りに包まれており、電解水で殺菌消毒されたユズが搾汁室にベルトコンベアで送られ、搾汁されています。10月中旬から現在、134ト（前年の83%）のユズが出荷され、一日あたり12トのユズを選果。毎日平均、家庭用一升瓶（1.8リットル）約一千五百本を加工しています。

農産工場 里昭男工場長は、「芳醇で豊かな香りが家庭でも気軽に楽しむことができるので、是非活用し料理のアクセントにしてもらいたい。」と期待を込めます。



果樹選果場では12月3日から冬至ユズの荷造りがスタートしました。11月中旬に収穫された果実は各生産者の所有する貯蔵庫で保管され、2日より荷受けが始まり、果樹選果場の従業員の手作業で1パック2〜4玉（250グラム）ずつ詰められています。今年6日から関東市場を中心に5万バック（裏年の為、前半比約50%）の出荷を予定しています。



冬至の日に柚子湯に入浴することは、古来から厄払いするための禊（みそぎ）だと考えられており、果樹選果場大窪職員は「今年は気持ち落ち込みがちな一年だったが、冬至には日本古来の文化に触れ、健康を願う、ゆず湯で温まってほしい。」と願いを込めます。



キウイフルーツ収穫完了

11月中旬、佐那河内支所キウイフルーツ部会は今年の収穫作業を完了しました。10月中旬より約3週間で共同冷蔵は約82ト（前年比110%）を集荷し、現在、果樹選果場にて冷蔵保管されています。



同部会 東野弘之部会長はキウイフルーツのオーナー園を運営しており、園では今年もキウイのオーナーによる収穫が盛況です。

単なる収穫の体験だけでなく、オーナーが村の自然にかわり楽しめる体験を目指しています。

東野部会長は「是非、固さを見極めて必要なら追熟させて食べてほしい。追熟により、甘くて柔らかくなる。栄養満点のキウイを多種多様に活躍させてほしい。おすすめは、キウイ果汁のウォッカ割り。」と笑顔で話されました。



10/14

▶ 圃場巡回時の様子。巡回場所はアップダウンが激しく、体力勝負です。



カリフラワー 目慣らし会



カリフラワー部会は11月27日、東部宮農経済センター集荷場でカリフラワーの目慣らし会を開き、生産者ら約40人が参加しました。毎年、生産者間格差をなくし、意識向上、また良品質な商品の出荷を目指し、目慣らし会を行っています。

現在、同部会では主に輝月、福月、ホワイトベルの3品種を栽培しており、今年は台風の影響も全くなく、生育・品質共に順調ですが、花蕾がスレに非常に弱く、変色につながりやすいことから、箱詰め作業についても注意点を周知しました。

出荷最盛期は12月～1月。今年の予定出荷量は約1千2百㌧、販売目標金額は2億8千万円を予定しています。

東部宮農経済センター小谷拓也職員は「単価が高い野菜なので、コロナの影響を受けやすいが、販売強化につとめたい。」と意気込んでいます。

たまねぎ苗の 栽培講習会



北井上支所女性部（豊田三代子部長）は11月20日、たまねぎ苗の栽培講習会を開催しました。以前から家庭菜園として、たまねぎ苗の栽培について知識を深めたいという声が多く、今回の開催に至りました。

約15名が集まり、北部宮農経済センター佐藤宏樹職員が、畑づくり・定植から収穫・貯蔵までの管理について、指導をしました。参加者からは、双子の分球についての質問があり、苗選びや植え付け時期、施肥について丁寧に説明しました。

また、トウ立ちが見受けられた場合は、すべて切断するようになど、注意点を指導しました。

豊田部長は「自家栽培することで、より安心・安全なものができる。ここで得られた知識をしっかりと栽培に役立てたい。」と話されました。



10月30日 ブロッコリー統一部会役員会

コロナウイルス感染拡大の懸念から、出荷協議会は開催が中止となりました。



令和2年度産計画

生産者 185戸
栽培面積 316畧ha
数量 4,248トn
目標販売金額
15億100万円

令和2年9月～令和4年8月		
部会長	丸岡 克之	応神
副部会長	山田 一義	不動
〃	酒井 健吉	北井上
監事	杉本 征男	南井上
〃	嵐 光男	勝占
〃	桑原 新一郎	加茂名



11月6日 ほうれん草統一部会役員会

コロナウイルス感染拡大の懸念から、出荷協議会は開催が中止となりました。



令和2年度産計画

生産者 468戸
栽培面積 150畧ha
数量 1482.5トn
目標販売金額
7億1,200万円

令和2年9月～令和4年8月		
部会長	友竹 裕人	北井上
副部会長	半田 勝二	南井上
〃	久次米 雅史	不動
〃	里 俊男	国府
監事	日野 雅史	加茂名
〃	近藤 正克	応神
〃	能田 義弘	徳島

連載 vol.5

“ほなけんがんばるんじょ”
「JA職員としての自覚を大切に」
徳島支所 LA 立田壮一郎さん



趣味は？
稲刈り。
仕事で一番
楽しい時間は
どんな時？

他愛もない会話でお客様が、笑顔になるとき。

目標は？
信用部門で1位になること。

目標とする上司・先輩は？
小角支所長。お客様から支所長にお世話になつたなど、たくさんのお話を聞きます。
自分もそんなふうによくのお客様から信頼が得られるよう、今後も努力したいと思う。

徳島支所の立田壮一郎さんは入組して4年目の若手職員。入組1年目は融資の業務に携わり、2017年よりLAとして渉外業務を行っている。

LAを担当して3年目。試行錯誤を繰り返しながらも、知識を深めるためプライベートでもYOUTUBEなどの動画サイトなどで勉強に取り組んでいる努力家。2019年度の共済部門で新人賞として表彰を受けた。また、信用部門では県下1位の実績を挙げており、今後が期待されている。

現在、渉外を担当しているエリアが支所から一番離れた地区。「店舗から遠い距離にもかかわらず、ご利用して下さるお客様なので、大切にしていきたい。所属長の小角支所長が若い頃に担当していた時から非常に長い付き合いのお客様も多く、上司や先輩方の努力と、JAへの信頼によって自分がお付き合いさせていただいている。

その力により自分が仕事ができるということを念頭に置き、一人一人のお客様を大切にしたい。」と語る。小角支所長は、「彼はチャレンジャー。探究心があり、先入観なく活動ができています。今後たくさん経験の積み、お客様の気持ちにもっと寄り添い、気配りができる人材に成長することを期待したい。」と話す。仕事には人一倍真面目に取り組み、元氣よく前向きに努力しているからこそ周囲も「助けたい」という気持ちが沸く。

何事にも一生懸命で、それを象徴するようなエピソードがある。

「いつも渉外のとときにバイクで土手を走るのだが、時間に遅れないようにと必死に運転していて、Yシャツの中に蜂が入り込んだのにも気づかず刺されてしまった。」と笑いながら話す。そんな明るいキャラクターで周囲を和ませる。



健康 百科

「新型コロナウイルスの後遺症について」

徳島往診クリニック 吉田大介

皆さん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

現在日本は新型コロナウイルスの第3波に襲われています。12/5の東京都の新規患者数は584人と1日あたりの感染者数の過去最高を記録しました。また前日には1日あたりの死者数は45人が確認され、これも過去最高です。人工呼吸器や体外式膜型人工肺（ECMO：エクモ）を使用する重症患者も増え続け、医療崩壊が懸念されています。もちろん、新型コロナウイルス感染から回復されるかたも多くなっていますが、だんだんとその後遺症があらわとなって来ています。

新型コロナウイルス感染ではインフルエンザのような発熱、咳、痰などの感冒様症状以外にも嗅覚障害、味覚障害、消化器症状（下痢、嘔吐）、耳鳴り、脱毛など多様な症状を訴える患者がいることが分かっています。当初、世界保健機構（WHO）は、軽症なら約2週間、重症でも3-6週間ほどで回復すると発表していましたが、最近になって新型コロナウイルス罹患後長い間症状が遷延するいわゆる「後遺症」の報告が相次いでいます。イタリアからの報告では、発症後約60日の段階で少なくとも1つ以上の症状が残存している患者の割合が87.4%に昇り、次のような症状があったとされています。

・倦怠感：53.1% ・呼吸困難感：43.4% ・関節痛：27.3% ・胸痛：21.7%

その他、咳嗽、嗅覚脱失、目や口の乾燥、鼻炎、眼球充血、味覚障害、頭痛、喀痰、食思不振、咽頭痛、めまい、筋肉痛、下痢など様々な症状も認められています。また32.2%の患者で1~2つの症状があり、55.2%の患者で3つ以上の症状を認め、44.1%の患者では罹患後60日の時点でも生活の質の悪化が見られていたとのこと。フランスでは入院後約110日以上経過した時点で、55%で倦怠感、41.7%で呼吸困難感を認めたのはイタリアの報告と同様に高頻度でしたが、34.2%で記憶障害、30.8%で睡眠障害、26.7%で集中力の低下、20%で脱毛を認めたとされています。ドイツからの報告では診断後約70日の時点できわめて高率（78%）に心臓MRIに異常を認めたとされ、心血管系の障害は頻度が高いものと考えられます。

これらの「後遺症」は、新型コロナウイルス単独によるものかどうかは不明とされていて、肺、血管、心臓などへの障害・個室やICUでの隔離による不安やストレスによるもの・人工呼吸管理等による筋力低下・薬剤の副作用なども関与する可能性があると考えられています。そのため、こういった後遺症が一人に複数認められた場合、いろんな診療科が連携し、身体的・精神的なケアが必要となります。若者や軽症者でも後遺症が残ることがありますので、若くて健康だからといって決して新型コロナウイルス感染を甘く考えないようにしましょう。



お知らせ

アグリサポートセンターより

11月号にて受付をしておりました、乾燥機とコンバインは、皆様のご協力によりまして、当センターの使用に適合した機械が見つかり、買取をさせていただきました。よって、乾燥機とコンバインの受付は終了させていただきます。ご協力、誠にありがとうございました。



2021年 JA夢フェスタ 開催中止について

毎年、開催をさせていただいておりました、JA夢フェスタは新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、誠に勝手ながら中止させていただくこととなりました。ご参加を楽しみにしていただいていた皆様には大変申し訳ございませんが、何卒、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。今後ともJA事業について、ご愛顧賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

理事会だより（令和2年11月16日）

協議事項

- (1) 役員定数について
- (2) 規程類の変更について
- (3) 令和2年度JA共済 地域・農業活性化助成 計画書（加工用いちご洗浄機・検品ラインの導入について）
- (4) 眉山椎茸菌床センター 培養施設の増設について
- (5) 出資口数の一部減口について
- (6) その他

報告事項

- (1) 令和2年度上半期末監事監査意見書について
- (2) 令和2年9月末資産査定結果について
- (3) 債権回収について
- (4) JA貯金の調達にかかる基本的考え方にかかる自己点検シートについて
- (5) 上半期決算報告について
- (6) 子会社の上半期決算報告について
- (7) 再発防止策について
- (8) その他

島田清弁護士無料法律相談

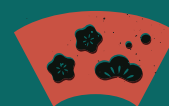
通常通り開催いたしますが新型コロナウイルスの感染状況によりましては開催できない場合がございます。

日時 第3土曜日 9:00～12:00

申込先 金融共済部へ事前に予約が必要

088-622-8003

場所 本所1階金融相談室



賀上延啓税理士事務所の無料税務相談

下記の通り開催予定ですが、新型コロナウイルスの感染状況によりましては、開催できない場合がございますのでご了承ください。

日時 1月12日(火)、19日(火)、26日(火)
9:30～15:00

申込先 総務部へ事前に予約が必要

088-622-6335

場所 本所1階ローンセンター

